



長崎外国語大学・短期大学

チャペル通信

編集・発行
学校法人長崎学院
宗 教 部

〒851-2196
長崎市横尾3-15-1
TEL 095(840)2000
FAX 095(840)2001

VIA VERITS VITA 「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネによる福音書14章 6 節)

チャペルアワー奨励から

鷺のように

日本ナザレン教団長崎教会牧師 三 浦 功

あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。
主は、とこしえにいます神

地の果てに及ぶすべてのものの造り主。

倦むことなく、疲れることなく

その英知は究めがたい。

疲れた者に力を与え

勢いを失っている者に大きな力を与えられる。

若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが

主に望みをおく人は新たな力を得

驚のように翼を張って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

イザヤ書四〇章二八―三一節

イザヤという人は「預言者」と呼ばれています。と

言いましても、昔流行り

ました何とかの大予言とい

うような、これから起こる

であろう未来を言い当てる

「予言」とは違います。言

葉を預かると書く「預言」

とは、主なる神様からの言

葉をお預かりするという意

味であり、「預言者」とは

神様からの言葉を人々に語

り聞かせる人のことを言う
のです。今日お読みいた

きました旧約聖書のイザヤ

書は、専門家の研究によれ

ば、二〇〇年を超える長い

時代を背景に書かれている

そうです。これは預言者イ

ザヤがかなり長生きしてい

たということを言っている

のではありません。二〇〇

年を超える長い間、人々は

イザヤ(「主は救う」とい

う意味の名)の取り次ぐ言

葉を心の糧とし、「主はわ

れらを救いたもう」という

約束を信じて待

ち望んでいたの

です。イザヤを

始めとする預言

者たちは、それ

ぞれの時代の中

で主なる神様の

言葉をお預かり

し、それを忠実

に人々に語り伝

えていきました。過ちを

正すための厳しい言葉があ

り、涙を拭う慰めの言葉が

あり、疲れた者に元気を与

える励ましの言葉がありま

した。主なる神様は、預言

者たちを通してもつとも必

要な言葉を人々に語られた

のでした。イザヤ書は、語

られた言葉を聞いた当時の

人々を励まし支えただけで

なく、時代を超えて今日を

生きる私たちの心にも届く

主なる神様の言葉です。で

すから、私たちは今日も聖



書をひも解き、主なる神様が私たちに語りかけようとしておられる言葉に心を傾けようとしているのです。

イザヤ書は、大まかに三部に分かれています。国が傾いていた時には悔い改めを求める厳しい言葉が語られました。国を追われ捕囚の身となった時には慰めと励ましが語られ、国に帰り神殿を再建することが許された時には未来への希望が語られています。今日の箇所は、国を追われ捕囚の身となつてゐる人々に向けて語られた慰めと励ましの言葉です。

「若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れよう」。若者とは若さ、元気の象徴であり、勇士は熟練の強者というイメージが浮かびます。お年寄りや弱者は疲れ倒れることがあつても、若

者や強靱な人は大丈夫だろうと誰もが思うことでしよう。しかし、彼らもまた、疲れて倒れてしまうことがある。現実の出来事として、いくら体が健康で丈夫でも、心が弱り疲れ果ててしまつたら、若者であろうと強者であろうと立ち上がれなくなつてしまいます。それほどまでに人間とは弱く壊れやすくデリケートな存在なのです。では、どのようにに疲れ倒れてしまつた人に、イザヤ書は何と語りかけているのでしょうか。

「主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張つて上る。走つても弱ることなく、歩いても疲れない」。「主に望みをおく」とはどういう意味なのでしょう。それは、その言葉に続く「鷲のように翼を張つて上る」という言葉がその意味を説明しています。皆さんの中に、空を飛んだことがある人はいませんか。ハングライダーやバンジージャンプなど、あの何とも表現し難い、宙に浮かんだ感覚を想像してみて下さい。足場を離れた瞬間、後は成り行きに身をまかせるとは限りません。バンジーの場合は、落ちるところまで落ち、その反動で上に上がろうとします。あるがままの自分を命綱に委ねるところに新しい世界が開かれていきます。空を飛ぶ鳥は風に身を任せて空高く飛んで行きます。鷲のように大型の猛禽類に至つては雄大な姿で風を読み、気流に乗つて空を駆け巡ります。主に望みをおくとは、すべてをご存知であり、治めておられる大空のような大きなお方、主なる神様の言葉

に聞き従い、すべてをお任せして生きるということですね。私たち人間の思いをはるかに超える遠大なご計画をもつて歴史を導かれるお方は、その風にさせて私たちを鷲のように天高く引き上げて下さいます。

私たちは、疲れている時、倒れかかっている時こそ、心が上向きになる言葉、私たちの心を励まし支える言葉が必要としています。聖書には、私たち人間を愛しお導き下さる主なる神様の言葉が記されています。ぜひ聖書を、特にこのイザヤ書を読んで下さい。主なる神様はあなたに必要な言葉をもつて、あなたに語りかけられるでしょう。

(二〇〇八年一月一九日)



“想い”をカタチに...

伝えたい、残したい、感動・体験・経験...人にはそれぞれの“想い”があります。“想い”を本というカタチにした時、作品に生命が与えられます。私たち九州印刷は、「本づくり」のお手伝いを致します。

お見積り無料。お気軽にご相談下さい。

〒852-8103 長崎市緑町4-5

TEL (095) 846-6844

FAX (095) 846-6845

E-mail: kyushu.p@ymt.bbq.jp

九州印刷株式会社

当社オリジナル商品

長崎の歴史・文化を題材に製作している弊社オリジナル商品です。

■長崎暦カレンダー (2009年版)

定価 1,200円 (税込)

■一筆箋 (長崎版)

定価 350円 (税込)

キリスト教書店ハレルヤ

〒862-0971 熊本市大江4-20-23

TEL 096-372-3503 (FAX共用)

E-mail: k-haleruya@earth.ocn.ne.jp

むかし校歌があつた



学生部長・教授

戸口 民也

むかし、長崎外語には校歌があつた。いや、廃止されたわけではないから今もあるはずなのだが、歌われなくなつて久しい。

詞も曲もいかにも校歌然としてゐる。言葉の響きは美しいとは言いがたく、曲もいきなり一オクターブ上のレから始まつたりして歌にくい。正直言つて好きではなかつた。

ただ、気になる文句が二番にあつた。「真理は人を自由にし、真理は人を解き放つ」という詞であ

る。あきらかにこれはイエス・キリストの言葉「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする」(ヨハネによる福音書八、三一、三二)をふまえたものだ。

念のために言えば、「自由にする」と「解き放つ」は「真理はあなたたちを自由にする」(ラテン語では *veritas liberabit vos*) の動詞を二通りに訳した

ものである。そしてこの動詞は、イエスの時代にはしばしば奴隷を解放するという意味で用いられていた。

では「真理はあなたたちを自由にする」とイエスが言うとき、その「自由」とはどのような意味だったのか。当時のユダヤ人が求めていた「自由」はローマ帝国の支配からの独立、隷属状態からの解放だった。しかし、イエスの使命は人間を罪と死から「解放」することにあつた。イエス・キリストという「真理」を知り、イエスという「道」を通じて神の「命」にあずかることだった。

違う。好き勝手とは、自己の感情や欲望をコントロールできないだけのことだ。自己中心の行動である。要するに、欲望とエゴイズムの奴隷に他ならない。

自由とは、束縛や強制とまったく異なる。偏見や誤謬といった内的で目に見えない力をもつと厄介である。偏見や誤謬にとらわれている人がはたして自由といえるだろうか。誤つた考えに支配されているがゆえに誤つた選択をしたとき、その人ははたして真に自由だったといえるだろうか。

人間は自由であるがゆえに選ぶことができる。良いものを選び、悪いものを選び取ることでさえできる。だがそれは、自由の正しい使い方とは

は言えないだろう。

悪いものとは知らずに選んでしまうこともある。無知に支配されているとき、正しい選択はできない。いや、選択することさえできないかもしれない。無知の奴隷である状態から解放されたとき、はじめてその人は選択が可能となる。自由となる。真の意味で自由を行使できる状態になるのである。

長崎外語の創立は一九四五年一二月。原爆そして敗戦から四ヵ月後のことだった。校歌がつくられたのはそれから二〇年後の一九六五年のことだが、「真理は人を自由にし、真理は人を解き放つ」という歌詞には作詞者青山武雄が創立時に抱いていた切なる思いが込められているに違いない。

列福式に参加して



外国語学部 一年
犬童 充貴

主の平安。

昨年、一月二四日に長崎市の県営野球場にて、「ペトロ岐部と同志一八七殉教者列福式」が盛大に行われました。自分はこの列福式が開催される約一年前から青年部実行委員として携わりました。

この列福式において列福された一八八名の殉教者は、一七世紀前半（江戸時代初期）に日本の各地で殉教したキリスト教（カトリック）信者で、五人の日本人司祭・修道士と一八三人の日本人信徒が福者に挙げられました。その日本人信徒の中には、八〇歳の高

齢者から生後間もない一歳の子供が含まれています。

一九八一年に前教皇ヨハネ・パウロ二世の来日を機にこの列福運動が開始されました。それから、三〇年近い月日を経た今日、教皇ベネディクト一六世の承認を経て、昨年一月に歴史に残る喜びの日を迎えることができました。

自分が活動していた青年実行委員では、「神様の名において命を捧げるという、その壮絶で美しく深い形で信仰を守り抜いた日本の殉教者たちは、とても誇らしく、また見習うべき形であり、命すら惜しまず最

後まで信じたその信仰を今一度見つめなおし、次の世代に受け継ぐこと」を目標に活動してきました。おも

に殉教者に関する歴史を振り返ったり、直接殉教地やゆかりのある教会を訪問したりして神様への信仰・希望・愛について研究しました。その中でも最も取り組みだプロジェクトがあり、全国の青年に協力を呼びかけて、信仰の証しである「火」をロウソクとともに各地でミサを捧げてもらうプロジェクトを行っていました。このロウソクは列福式当日に祭壇に奉納し、約三万人の参列者とともに祈りを捧げることができました。

列福式当日は、全国の殉教地からいただいた「土」を三万人の参列者を代表して、自分を含む六人の代表者が会場中央の祭壇に奉納させていただきました。自分が代表して奉納させていただいたことは、今でも忘

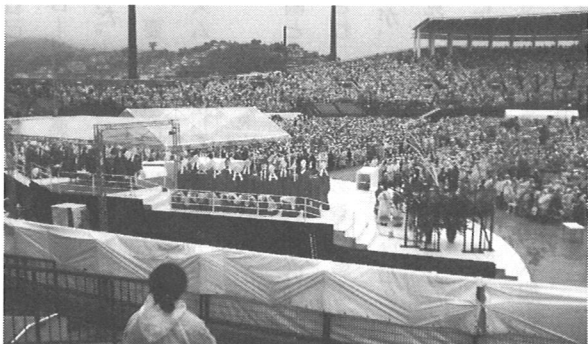
れる事のない一番の記念であり思い出となりました。

この列福式という歴史に残る式典に関わり、青年という立場から見ても、現代、若者の教会離れが目立っている気がいたします。かつては子供たちも幼いながらに神様の教えを正しいと信じ、また、慎ましく祈り教えに従って生きて生活をする大人たちを敬いながら生きていたのだと思います。祈ることはとても大切なことです。その行いは心のよりどころです。祈りや教えを体現することで、隣人を愛し、また愛されること、そういう姿が相手をひきつける業ではないでしょうか。

一八八名の殉教者たちが命すら惜しまず守りぬいた信仰を後世まで自分たちが守り育み、よりよく広められ、また大切

に受け継がれていくよう、世の光となって生きていきたい、自分はそう願っています。

この列福式という歴史的な式典に関わることができたこと、心から喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。自分たちの活動がこれからよりよい実を結ぶことができるように、これまで以上に励んでいきたいと思っています。



犬童充貴 撮影

映画紹介

『風の遺産』(Inherit the Wind)

スタンリー・クレイマー監督、一九六〇年米

He that troubleth his own house shall inherit the wind: and the fool shall be servant to the wise of heart. (Proverbs 11:29)



山川 欣也

一九二五年七月十日、テネシー州、一八〇〇人ほどの小さな町デイトンで、全米注目の裁判がはじまる。四ヶ月前、公立学校での進化論教育を禁止する条例が同州議会で成立し、二ヶ月前にこの条例違反の嫌で逮捕されたジョン・スコプスに対する裁判、俗に「サル裁判」として広く知られる裁判である。

当時、この裁判が注目された要因はいくつか考えられる。一つは、一九二〇年代という歴史的背景。米国社会は急速に現代化する大きな波の真只中で、人々の生活はその転換を迫られていた。二つ目は、片田舎の小さな事件に、検察側、弁

護側双方で超大物が法廷に立ったこと。前者に、三度、民主党大統領候補となったW・J・ブライアン、後者にシカゴの大物弁護士クラレンス・ダロウがついた。今一つは、誕生したばかりネットワーク・メディアのラジオがこの事件を全米に知らせたことである。とはいえ、『聖書』と『種の起源』が図式的に対立したわかりやすさが多くの関心を引きつけたことは間違いない。両者のきわめて興味深い「創世記」論は十日間に及び、結局、七月二二日、裁判はスコプスへの罰金一〇〇ドルの有罪判決をもって結審した(その後テネシー州最高裁で裁判自

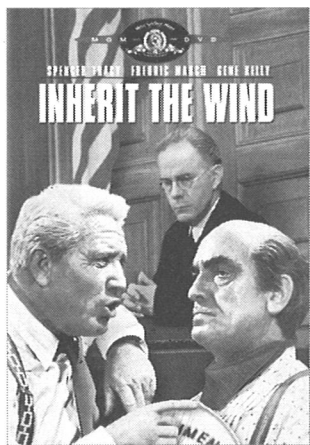
体は無効とされた)。ちなみに、検察側のブライアンは五日後に死去、この州条例は一九六七年まで存続した。この裁判を元にしたプロードウェイ舞台劇(一九五五)を映画化したのが今回紹介する『風の遺産』(Inherit the Wind)(一九六〇)で、制作と監督はスタンリー・クレイマー、ドラモンド(ダロウ役)はスペンサー・トレイシー、ブレイディ(ブライアン役)がフレデリック・マーチと磐石な布陣である。以後も何度かリメイクされ、一昨年には舞台でもリメイクされた。いずれの作品も大物俳優が両者を演じた。つまり米国では話題性が高い、人々の注目を集めやすい題材であるという点なのだが、日本では劇場未公開のまま今日にいたっている。

今から決闘か銀行強盗に向かう悪党一味にも見える町の顔役たちが登場する映画の冒頭は、まるで西部劇のようだ。出向いた先は、科学の授業が行われている教室。生徒の目の前で、スコプス(脚色名はケイツ:あのTV『奥様は魔女』の初代ダーリン役)は条例違反で逮捕される。以後は実際の経緯に即した「法廷もの」として映画は走り出す。クレイマーは一切の色を排して、映画をモノクロで撮りあげ、手前と奥、右と左などの人物配置にもこだわった。

「サル裁判」ともいわれるように、いわゆる創造説と進化論の勝ち負けとか、福音主義保守派とリベラルの対立、あるいは宗教教育と公教育の対峙といった視角から注目され、今でもされている。しかし、映画『風の遺産』は、宗教と科学の対立といった視角をとらない。弁護側のトレイシーはデカルト的言説を繰り返し、また真理と真実を探索することの重要性を訴える。実際の事件は、テネシー州条例を撤廃させようとしたアメリカ市民自由連合(ACLU)が主導して、デイトン在住のごく普通の青年スコプスが裁判の矢面に立たされたに過ぎない。創造説を葬り去る、進化論を断罪するというわけでは必ずしもなく、州条例は「表現の自由」を侵していることを表面化させようとしたのだ。そうしてみれば、一九五五年に舞台劇化され、これをクレイマーが映画化したというわけがあらわになってくる。米国社会は、外には東西冷戦体制の深化、内には公民権運動の興隆に直面していた。自分たちと相反する立場を許容し得ない思考と体制こそが問題とされねばならなかった。ところが、そもそもアメリカ力の出発からしてそうではなかったところに問題の根深さがある。

こうした反進化論法は違憲だとの一九六八年連邦最高法院判断にもかかわらず、その後も別の形で論争となり、四〇年経った二一世紀の今日でも、いくつかの調査によれば、アメリカ人の過半数は神が人を創造したと思っている。繰り返したこの問題を再燃させる火種は「恬然として」燻り続けている。

(教授・アメリカ力研究)



2008年度 チャペルアワー等の記録

(春学期)

チャペルアワーは毎週水曜日午後 12:40 ~ 1:00

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
歳末礼拝	4月6日	求 め な さ い	マタイ7,7,8	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)
1	4月16日	失われた一匹の羊	ルカ15.1-7	福井 博文牧師 (長崎古町教会)
2	4月23日	ボケとツッコミ	マルコ2.16,17	原 和人牧師 (長崎銀屋町教会)
3	4月30日	人 生 の 渴 き	ヨハネ4.6-18	友納 靖史牧師 (バプテスト 長崎教会)
4	5月7日	共生社会の一員として	マタイ7.7-12	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
5	5月21日	神様は私の中に、私は神様の中に	ヨハネ14.19,20	高橋 勇造理事 (長崎学院)
6	5月28日	新 し い 心	詩編130.1-6	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
7	6月4日	愛 は 想 像 力	マルコ10.13-16	村井 仁牧師 (長崎飽の浦教会)
8	6月11日	子どものように	マルコ10.13-16	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
9	6月18日	愛するということ	I コリント13.4-7	吉川 八郎牧師 (長崎教会)
10	6月25日	一所懸命な心の回復	フィリピ3.12-14	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
11	7月2日	青 年 期 と 信 仰	I ヨハネ4.7,8	浜田 道明牧師 (ルーテル 長崎教会)
12	7月9日	信 仰 と 不 信 仰	マルコ9.14-29	川越 弘牧師 (日本基督 長崎伝道所)
13	7月16日	ザアカイの救い	ルカ19.1-10	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
14	7月23日	罪 の 誘 惑	マタイ7.13,14	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)

※ 7月9日第12回チャペルアワーは「故藤末文夫兄 (長崎学院理事長) 記念」として行われました。

(秋学期)

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
1	10月1日	わたしはぶどうの木	ヨハネ15.5	福井 博文牧師 (長崎古町教会)
2	10月8日	他 者 へ の 愛	マタイ7.12	古賀 貞夫理事長 (長崎学院)
3	10月15日	壁に耳あり障子に目あり	マタイ6.1-4	原 和人牧師 (長崎銀屋町教会)
4	10月22日	聖 霊 と 赦 し	ヨハネ20.19-23	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
5	10月29日	持たないもののよう	I コリント7.29-31	吉川 八郎牧師 (長崎教会)
6	11月5日	私だけのための《狭い門》	マタイ7.13,14	高橋 勇造理事 (長崎学院)
7	11月12日	魂に命を得よう	イザヤ55.1-3b	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
8	11月19日	鷺 の よ う に	イザヤ40.28-31	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
9	11月26日	たとえ愛がわからなくても	I コリント13.4-8	星野 江理香牧師 (長崎滑石教会)
10	12月3日	最も高貴な生き方を	I ヨハネ3.16	川越 弘牧師 (日本基督 長崎伝道所)
11	12月10日	星 に 導 か れ て	マタイ2.1-12	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
クリスマス	12月18日	Keep on believing	ルカ1.26-38	友納 靖史牧師 (長崎バプテスト教会)
12	1月14日	絶望しても奪われないもの	ルカ17.11-18	堀尾 憲孝司祭 (聖公会 長崎聖三一教会)
13	1月21日	す べ て を 疑 え !	ヨハネ20.24-29	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)

編集後記

『チャペル通信』第一八号をお届けします。ご寄稿いただいた皆さまに感謝申し上げます。

さて昨年一二月に『長崎学院創立六〇周年記念誌』がようやく発刊の運びとなりましたのでご報告いたしました (A5版三六四ページ、箱入上製本)。原爆の廃墟の中で産声をあげ、戦後の復興から高度成長そしてポスト高度成長の時代を各種学校・短期大学・大学へと発展してきた学校の歩み、在校生・教職員、統計や各種資料からなるメモリアルな一冊です。ご希望の方は総務課企画広報室 (TEL〇九五・一八四〇・二〇〇〇) まで。(なお三ページの戸口先生のコラムはその執筆・編集に携わられたご感想を寄稿していただいたものです。)

(小西哲郎)